



y 創立 1993年12月1日

事務局 〒286-0106 成田市取香 500

ホテル日航成田

TEL 0476-32-9544

FAX 0476-32-5548

例会場 ホテル日航成田内

TEL 0476-32-1144

成田コスモポリタンロータリークラブ週報



2019～2020年度 国際ロータリーテーマ

ロータリーは世界をつなぐ

【 会長 マーク・ダニエル・マローニー 】

成田コスモポリタンRCターゲット

「みんなで輪をつなげよう」

〔会長：奥村 國生〕

第 1264 回 例会

令和元年11月20日（水）

《地区奨学生・学友委員会について》

- ◇ 点 鐘 奥村 國雄 会長
- ◇ ロータリーソング 奉仕の理想
- ◇ 四つのテストの歌 飯島 一扶 会員
- ◇ ニコニコ BOX

・片岡 孝治 会員

《昨日、成田市より表彰を受けましたので、ニコニコします。》

・加瀬 邦雄 会員

《最初で最後でしょうが、千葉銀行のゴルフコンペで何故か優勝。スコアが上手くはまり人生初の優勝カップをいただきましたのでニコニコさせていただきます。》

・藤崎 政弘 会長エレクト

《先日、納税優秀者に選ばれ表彰をうけました。ニコニコ致します。》

・林 康博 会員

《千葉ロッテマリーンズ 鈴木大地選手が FA を行使しし 18 日、東北楽天ゴールデンイーグルスと選手契約を結ぶことで合意しました。残念ですが次の新しい人材を発掘すべく、新しい人材に期待をして来年もゴルフ大会声援をよろしく願いまして、ニコニコします。》



◇ 会 長 挨拶 奥村 國雄 会長

改めまして皆様こんにちは。本日の例会は沢田 克洋 会員に卓話をお願いいたしました。地区奨学生・学友会委員長という立場で卓話していただきます。後ほど宜しくお願い致します。この1週間の活動を少し報告します。15日(金)午前中に埴生神社で皇室行事の大嘗祭に合わせて奉納が行われました。市長をはじめ10人ほどの参列でしたが、改めて新天皇令和元年を感じました。午後4時には成田商工会議所・成田観光協会共催の第59回永年勤続優良従業員授賞式にコスモポリタン会長として出席しました。協賛団体として招待されました、83名の方が5年刻みで表彰され最高40年表彰が5名いらっしゃいました。当クラブの会員事業所は、藤崎 祥弘さんの久能カントリー倶楽部、諸岡 良和さんの米屋株式会社、阿曾 靖さん日本ビューホテルの従業員が表彰を受けました。さて、明後日の22日深夜0時で日韓秘密軍事情報協定のGSOMIAの継続を韓国側が破棄することによって失効します。3年前の11月23日に協定、即日発効したのですが、日本はアメリカと2007年8月に協定して、NATOの7か国と協定しています。アメリカは60か国以上、韓国は21か国と協定を締結しているそうです。韓国が日本にGSOMIA破棄を通告した翌日の8月24日に嘲笑うかあのように北朝鮮が短距離弾道ミサイルを発射しました。この時韓国政府の発表よりNHKのほうが13分早かったようで、これは何を物語るかと色々推測できますが日本のレーダーのシステムの方が優れているのではと思います。北朝鮮だけでなく、中国、ロシアも喜んでいるかもしれません。そもそも「核とミサイル」に関する日本の軍事情報を欲しがったのは韓国側で、「行われた核実験・弾道ミサイルはどんなものだったか？」知りたかったのです。GSOMIAとは第3国への漏洩防止を約束した条約で、「情報交換の枠組みではないそうです。アメリカは日韓がGSOMIAを締結していることが便利で、それまでは個別に情報を作成したのをその必要がなくなりました。また以前に戻り情報の共有に時間がかかり少しはデメリットが発生するようです。徴用工判決から日本企業の資産取り上げ現金化する判決に韓国政府が対応しないことに日本政府はどうとう堪忍袋の緒が切れたのだと思いました。私も韓国相手にせずと思う事は過去に何度も思っていましたが残念ながら日韓問題は続いていくでしょう。韓国政府はすべて日本のせいにして、自国民の不満をそらせてきたため、その付けは大変大きなものとなっていると考えます。日韓問題については、皆さんも様々な意見をお持ちと思いますので改めて意見交換をさせていただきたいと思います。会長挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。



◇ 委員会報告

◎ Cチームホームミーティング 藤崎 康弘 リーダー

今日、18:30より「山茶花」にてCチームホームミーティングを行いますので、宜しくお願い致します。



◎ ◎ ロータリー財団委員会 藤崎 康人 公共イメージ統括委員長

ロータリー財団委員長がお休みの為、会長より沢田 克洋 会員に特別寄付PHF+3の感謝状が来ておりますので、贈呈させていただきます。



◇ 幹事報告 高木 正尊 幹事

■例会変更：富里RC・成田RC例会変更



卓 話 国際ロータリー2790 地区 奨学生・学友委員会委員長 澤田 克洋 会員



皆様こんにちは。今月は財団月間と言う事で、ロータリー財団とは何か、寄付金がどのように使われているかをメインにお話をさせていただきたいと思っております。まず、私たちが入っている国際ロータリーは、ロータリーという組織の運営を行っています。運営費は全て我々の会費から出ており、私たちが毎年 65.5 ドル、108 円のレートですと 1 人 7000 円位を会費として納めています。もう一方ロータリー財団は、我々の寄付金を全て管理しています。ロータリー財団は、寄付されたお金を奉仕活動に使うための資金管理を行い、寄付を財源とした投資運用益で行っています。ロータリー財団がどうやってできたのかと申しますと、ロータリーが出来てから 10 年後の 1914 年第一次世界大戦がはじまり主戦場だったヨーロッパの方で戦争での負傷者が多く出たそうです。無傷だったアメリカではその方々を支援するために、時の会長アーチ・克蘭フが、アトランタで開催された国際大会で、世界で良いことをしようという提案したそうです。良いことをするには当然お金が必要でその基金を立ち上げたというのがロータリー財団のはじまりと言われております。私たちロータリアンはロータリーの基本理念である『奉仕の理念』を実現するため様々な奉仕プロジェクトを実践していますが、ロータリー財団(TRF)はロータリアンや他の個人、法人からの寄付金を財源として奉仕プロジェクトを財政的にサポートしています。私たちの寄付はロータリーの基本理念実現のためのひとつの手段といえます。最近では、あまり寄付・寄付とは言わず、支援という言葉を使っているところもあるようです。

ロータリー財団の寄付の種類ですが、年次寄付・ポリオプラス寄付・恒久寄付・その他寄付の 4 種類があります。ポリオプラス寄付は、国際ロータリーの特別プログラムになっており、ポリオ根絶の認定が達成されるまで他の全てのプログラムに対して優先されるプログラムです。表記が今まで「ポリオの撲滅」でしたが、今年から「ポリオの根絶」と変わっています。そして毎年一人 30 ドルの寄付をお願いしております。続いて恒久寄付ですが、元金には手を付けず投資収益のみが活用されています。2018 年度 6 月時点では 12 億 7140 万ドルで運用しており、これを 2025 年には 20 億 2,500 万ドルで運用しようという目標が掲げられています。続いてその他寄付ですが、こちらはあらかじめ使い道を決めて寄付をするものです。そして、我々が最も重視している、年次基金寄付のご説明を致します。財団委員会では、毎年、年次基金寄付をする事を強くお願いしております。皆様から集められた年次基金は 3 年間投資に回され、年度によって異なりますが、平均 6 %程度の収益を得てから活用に戻されます。ロータリー財団という組織の運営費は、この投資運用によって賄われており、皆様から寄付された寄付金は全額、事業の活動費に使われております。

ここで年次基金への寄付がどうなるかを簡単にご説明します。年次基金寄付はシェアシステムという仕組みに基づき、寄付された金額の半額はロータリー財団によって管理・運営されます。これを国際財団活動資金、WF、World Fund (ワールドファンド)と呼びます。もう半額は寄付した地区に還元され、地区によって管理・運営されます。これを地区財団活動資金、DDF、と呼びます。このように年次基金寄付はきっちり半額ずつ、ロータリー財団と地区に分配されるのです。

WF はロータリー財団が主導する地球規模の活動費として、ロータリー財団本部の主導で活用されます。具体例を上げると、世界中のポリオウイルス保有国に行き行ってポリオワクチンを飲ませる活動、紛争解決と平和構築の活動、衛生的な水が飲める環境づくり、教育が行き届かない地域への支援、平和の構築を目指す学生への奨学金、地区のグローバル補助金事業への補助などがあります。

続いて DDF は、ロータリーの各クラブが奉仕プロジェクトに使用できる資金になります。使用用途は地区の裁量で決めることが可能です。これには 2 種類ありまして、地区補助金は活動が財団の使命に沿うものであれば、6 つの重点分野に関連する必要がなく、柔軟な運用が可能になります。当クラブでは、18 - 19 村島年度の時にカンボジア助産師支援と言う事で地区より地区補助金 30 万円、当クラブより 50 万円総額 80 万円の事業を行いました。地区からも素晴らしい事業だとお褒めの言葉も頂きました。

もう一つのグローバル補助金は、いわゆる「6つの重点分野」を中心とした人道的奉仕に使用されます。6つの重点分野を申し上げますと、平和と紛争予防／紛争解決、疾病予防と治療、水と衛生、母子と健康、基本的教育と識字率の向上、経済と地域社会の発展となっております。グローバル補助金は地区財団活動資金 DDF からだけではなく、ロータリー財団から同額の支援を受けることができ、地区補助金より、大規模な国際的活動を支援するものです。藤崎政弘会員は地区グローバル補助金事業を活用してPHJのカンボジアでの活動を応援しようとしております。こちらが実現すると、総額の上限4万ドル（ロータリーレート：108円、432万円）の事業が行えることになります。

審査が厳しいですが、チャレンジするのも良いかもしれません。

次に奨学生制度について説明します。ロータリー財団奨学生には種類が2つあります。一つは、地区補助金奨学生という制度、もう一つはグローバル補助金奨学生です。地区補助金奨学生は今年度1名（流山RC推薦：佐藤鈴さん）選ばれました。目的ですがロータリーの理念に即した修学と奉仕を志す奨学生を募集選択し、奨学金の給付等を通じて国際理解と世界平和の促進を支援する事を目的としております。授与する奨学金の上限額は20,000 USD・派遣期間2020年9月1日～2021年6月30日・対象者は新学期から海外の大学、大学院で就学を開始する方となっております。続いて、グローバル補助金奨学生は、本年度は2名（松戸RC推薦：川井大介さん、銚子RC推薦：工藤幸介さん）が選ばれました。ロータリー財団が定めた6つの重点分野のいずれかに合ったキャリアを目指し、大学院レベルの研究目標もそれに沿ったものであり、海外の大学院で勉強する意欲ある留学生を支援する事を目的としております。授与する奨学金の上限40,000 USD となっており、内訳は（地区財団活動資金）20,000 USD・WF（国際財団活動資金）20,000 USD、です。派遣期間2020年9月1日～最長4年間・対象者 新学期から海外の大学院もしくは、大学院レベルで就学を開始する方となっております。ロータリー財団奨学生とは、ロータリーの目標達成を共に目指す人（ロータリーファミリー）を増やすためのものです。特にグローバル補助金奨学生は、実施側クラブと援助側クラブが協力して行うグローバル補助金事業です。つまり、この2つのクラブが主体となり行う事業です。奨学生の総てのサポートは送り出しに於いては援助側クラブが、現地に於いては実施側クラブ（留学先）がサポートをすることになります。なぜ、ロータリー財団が奨学生に対しそこまでするのかというとロータリー財団奨学生というのは、決して個人の留学ではなく、ロータリーとTRFの事業の一端を担ってくれる人に支援するのが財団奨学金です。グローバル補助金事業として、海外にきれいな水を供給するために井戸を掘る事業、医療器具を送る事業、識字率向上のために本を送る事業・・・これらの事業と同じように、今回の3人は平和と紛争予防／紛争解決のために留学し、将来は国際機関で働く、まさにロータリーとTRFの事業の一端を担ってくれる人に支援するのがロータリー財団奨学金です。3名は本気で世界平和を目指し留学しようと応募してきました。面接時の目の輝きが違いました。素敵な3名がこれから海外で学び、どのように成長していくのか、非常に楽しみです。20代で明確な人生プランを立て、人々の役に立ちたいという思いで、さらに留学を目指す。ぜひ皆で応援し、帰国後は卓話に呼ぶなどしても良いと思います。以上、ロータリー財団奨学生について説明させて頂きました。

◇ 点 鐘 奥村 國雄 会長

◇ 出席報告 *メーキャップは前後2週間です。

	日付	会員数	免除	出席	欠席	M U	出席率	補正出席率
前々回修正	11月6日	72名	5名	38名	27名	5名		61.43%
本日例会	11月20日	72名	5名	29名	40名	2名	43.66%	

・成田コスモポリタンロータリー・クラブ事務局

〒286-0106 成田市取香500 ホテル日航成田内 TEL/FAX 0476-24-5044

・例会場 ホテル日航成田内 TEL 0476-32-1144 FAX 0476-32-0022